

CCI茨城

那珂市中学生が体験学習

建設業の魅力伝える



鈴木会長

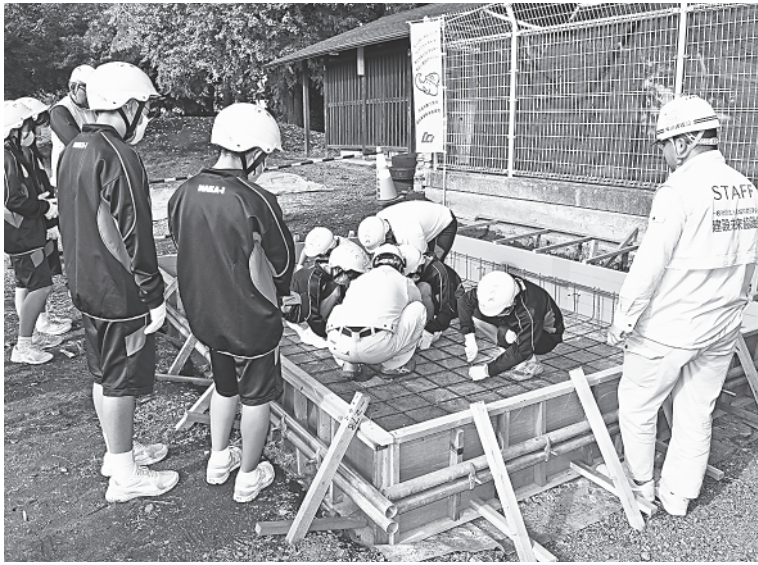


梅澤課長



高野支部長

県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）は9日、那珂市立第一中学校で建設体験学習を実施した。同校の1年生116人が参加し、ログハウスの基礎組立やドローンの操縦などを体験。生徒たちは会員の手本を元に作業を行い、



基礎工事の一部を体験した

建設業への理解を深めた。冒頭に、県建設業協会建設未来協議会の鈴木達二会長が「けがに気を付けて楽

しみながら、建設のダイナミックなものづくりを体験してほしい」とあいさつ。続いて県土木部の梅澤信

行技術統括監兼検査指導課長が「建設の業務に触れていただき、将来の職業選択の1つとしてもらいたい」と語った。県建設業協会常陸大宮支部の高野潔支部長は「次世代を担う建設未来協議会の皆さんと一緒に建設業がどういうものか知る機会にしてほしい」と話している。

体験の内容は▽ログハウスの基礎となる鉄筋の組み立て作業の一部▽校庭のベンチ撤去・設置作業▽高所作業車に搭乗しての校舎洗浄▽ドローンの操縦―を4つの班に分かれて順番に体験。作業中の生徒からは「簡単そうに見えたが、実際に体験してみると難しい」「洗浄機を使用するのは作業がとても楽しい」などの声があがった。

今回は、全3回実施する体験学習の第1回目。次回は同校で12月14日に行う。2024年1月25日開催予定の第3回では、前2回で製作したログハウスの引渡式を挙行する。